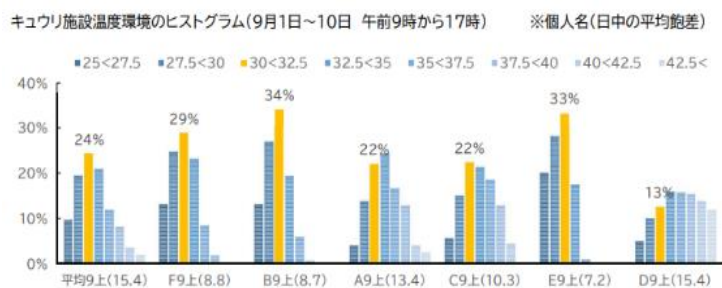


# 甲賀のスマート農業の取組について

## 【キュウリの昇温対策】

7月下旬から8月上旬に定植されるキュウリの昇温対策として、ICTバルブの設置と、温湿度ロガーによる栽培管理の見える化を行っています。栽培環境の改善と併せて、実際の温度管理に基づいた意見交換を行うことで、生産者の管理技術の高位平準化を目指しています（詳細はP10に記載）。



研修会資料の一例



ICTバルブ設置ハウス

## 【ミスト散布によるいちじくの高温障害対策】



ミスト散布時のハウス内風景

近年、管内のいちじくハウス栽培では、夏季の高温による葉焼けや高温障害果の発生が問題になっています。

そこで、それらの発生防止のために、ハウス内温度によって自動散水するミスト装置を試験的に設置しました。ミスト装置の昇温抑制効果として、2～3℃の昇温抑制が確認されました。それに伴い、葉焼けや高温障害果の発生程度が抑えられました。

## 【自動給水栓設置による水稻の水管理の省力化】

中山間地域での担い手の課題のひとつにはほ場の分散があり、農場間の移動に多大な時間を要しています。特に、水稻移植後の水管理は、他ほ場の移植作業と重なり、水管理が不十分といった課題がみられます。

そこで、シンプルな水位センサーを活用する自動給水栓を信楽町で試験的に設置したところ、農業者の実感として、「農道から見下ろすだけで水位や止水の状況が目視で確認できて効果的であった。」、「獣害柵の開閉を行わず、取水口までの歩行時間が省けた。」といった感想が寄せられました。



自動給水栓の設置風景

製品：農匠自動給水機